

## 【礼拝賛美】神の国と神の義を

(2回くりかえし)

神の国と神の義を ます求めなさい  
そうすればみな与えられる  
ハレル ハレルヤ

## 【報告 消息】

・小学科キャンプ

茅ヶ崎シオンと合同で一昨日と昨日の2日間で行いました。詳細な報告は次週の週報に掲載します。背後でのお祈りを感謝します。



・林眞光修養生

以前お伝えした通り、8月はたいへん忙しく過ごしています。ホザナキャンプにはじまり霊修会、小学科キャンプ、そして外部でも聖宣神学院と奥多摩バイブルシャレーで奉仕がありました。ギッシリと詰め込まれたスケジュールも、若さにあふれて元気に励んでいます。

今週は沼津シオンで3日間(月～水)実習奉仕です。チラシ配布などを予定しています。一つひとつの働きが主の器として成長する機会となるようにお祈りください。

・無料食品配布のボランティア報告

8月5日(土)に実施しました。今回は58家族70名以上に食料品をお渡しできました。寄付をしてくださった方、お祈りくださった方に心より感謝を申し上げます。引き続き、生活に苦しんでいる方々のためにお祈りください。物質面で必要が満たされるとともに、この働きとの関わりが主イエス様との出会いに繋がるようにお祈りください。

No.22 2023・8・27

## 「主のおしえを喜びとし

昼も夜も そのおしえを口ずさむ人」

- 一、先回は詩篇一篇一節「幸いなことよ」は、神との純粹(聖潔)な関係にあること。
- 二、その関係を阻害するのは罪であること。
- 三、その代表例にダビデの二重の罪を見た。
- 四、新約に使徒パウロと「無学な凡人」である小生の拙い証しを加えさせて頂いた。

今朝は二節の冒頭のみことばに進んで、

一、何を喜ぶか。主のおしえである。一節の信仰経験者が二節に進むのは必然である。他訳は「喜び」は「愛し」とある。文語訳では二節が「かかるとは」で始まる。贖われた者の喜びは、苦しみや悲しみ、辛さの中にも神への思慕がつのり、神の「おしえ」を愛

## 詩篇 一篇二節

し真つ直ぐに神に向かわせる。

A、「おしえ」の意味は、神ご自身の「ご意志」が言葉で現されたもの。「かかるとは」に加えられたダビデは「主のみおしえは完全でたましいを生き返らせ、主の戒めは真つ直ぐで人の心を喜ばせ…純金よりも慕わしく、蜜蜂の巣の滴りよりも甘い」と。

B、新約の生きたみことば・真理の実体は、「生ける神の御子キリスト」。使徒ヨハネは「初めにことばがあった。…ことばは神であった。…ことばは人となって、私たちのあいだに住まわれた」と一章に記した。神はその御ことばご意志を、「ことば」である御子キリストのご生涯をもって現わされた。キリストの十字架の贖いの恵みを

経験した人は、神との交わりを慕い求める。その人は主のおしえを愛し喜ぶ人である。

二、如何にして喜びを得るか。「主のおしえを口ずさむ」然も昼も夜も」である。

A、二節の他訳「どうしたらもつと神に近づけるか思い巡らす」とある。詩七三28「神の近くに…」。この「近く」は接着剤の意味。即ち神との合一の希求である。

B、神との交わりである二節は神との交流の手段である。「みことばが人格化される」。みことばは聖霊の働きで人格化される。C、そのために必要とするのが二節の営みである。「口ずさむ」の語源は「熟考する」であり、霊的思考力の習慣的訓練を要する。「神による人生は、どんなに多くの涙の谷を通過しても、必ず神を「たたえるうた」を口にする日を迎える」ことを信じて。英

**8月27日 聖日礼拝**

第1礼拝 9時 荻野牧師  
第2礼拝 11時 荻野と兄

招詞 ゼカリヤ書2章13節

会衆賛美 聖歌651

会衆賛美 神の国と神の義を(2回)

(歌詞は週報4面に掲載)

主の祈り

交読 詩篇19篇7～14節

礼拝祈祷

使徒信条

聖書朗読 詩篇1篇1～6節

説教 主のおしえを喜び

田中英師

会衆賛美 聖歌518

献金

頌栄 聖歌376

祝祷

報告

後奏 感謝祈祷

**【招詞(主の招きのことば)】**

ゼカリヤ書2章13節

「すべての肉なる者よ、主の前で  
静まれ。主が聖なる御住まいから  
立ち上がられるからだ。」  
アーメン

**【本日の予定】**

■会堂清掃 第1・第2礼拝終了後

■小学科ホザナ礼拝 3階 11時

お話し 荻野牧師

■バイブルカフェ お休み

\*本日はミモザ会が取手シオンを  
訪問。新会堂での礼拝出席です。

**【本日の礼拝奉仕者】**

■第1礼拝

礼拝祈祷 司会者

聖書朗読 司会者

献金1階

献金祈祷 司会者

報告 司会者

受付

配信チーム

■第2礼拝

礼拝祈祷

聖書朗読

献金1階

1階

2階

献金祈祷

報告

会場

受付

司会者

荻野牧師

**【次週の礼拝説教】**

左ページに掲載

**【次週】9月3日(日)**

シオン・キリスト教会  
創立89周年記念礼拝



9時より 第1礼拝  
11時より 第2礼拝

(オンライン配信は通常の通りに、  
9時より第一礼拝です)

\*説教 荻野牧師

ネヘミヤ記1章

「教会を建て上げる人」

\*聖餐式を行います。

\*記念品(ボールペン)をプレゼント。  
本年はコロナ禍からの回復途上とい  
うことで、励ましの意味を込めて  
教会員全員にお配りします。(当日来  
会されない方には郵送)

この時代に、共に主に呼び集めら  
れてこの教会に繋げられたことを喜  
び、感謝をささげたいと願います。

**【第65回霊修会 報告】**

日程 8/22(火)～23(水)  
会場 YMC A東山荘(御殿場)  
講師 林正弘師  
インマヌエル綜合伝道団  
船橋教会主任牧師、聖宣神学院院長

**■集会概要**

〔聖会Ⅰ〕説教 林正弘師  
エペソ1章3～14節  
「一つとなって神の栄光を現わす  
教会―その計画」

〔聖会Ⅱ〕説教 林正弘師  
エペソ2章3～10節  
「一つとなって神の栄光を現わす  
教会―その原点」

〔聖会Ⅲ〕説教 林正弘師  
エペソ4章1～16節  
「一つとなって神の栄光を現わす  
教会―その実現」

〔早天集会〕担当 岸田悟師  
詩篇1篇1～8節

皆様のお祈りをいただき、霊修  
会を4年ぶりに宿泊を伴って行うこ  
とができました。心より感謝いたし  
ます。  
1泊2日は、あつという間に過ぎ  
てしまいましたが、説教のうちに、ま  
た賛美や証しのうちに、そして兄弟  
姉妹との交わりのうちに、主の恵み  
をたくさん感じる事ができました。  
あいにくの曇り空と雨模様で富士  
山を見ることはできませんでしたが、  
恵みの雨に潤された2日間でした。